

大会名	第72回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会				チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
期 日	H30.6.3	会 場	TKCいちごアリーナ	試合No.	桐 光	20	13	20	16		69
審 判	(主) 渡邊 整	(副) 大河原 則人	菊地 真吾	M4	八 王 子	18	20	14	21		73

桐光学園高等学校(神奈川)

コーチ 高橋 正幸 A・コーチ 林 大空 マネジャー

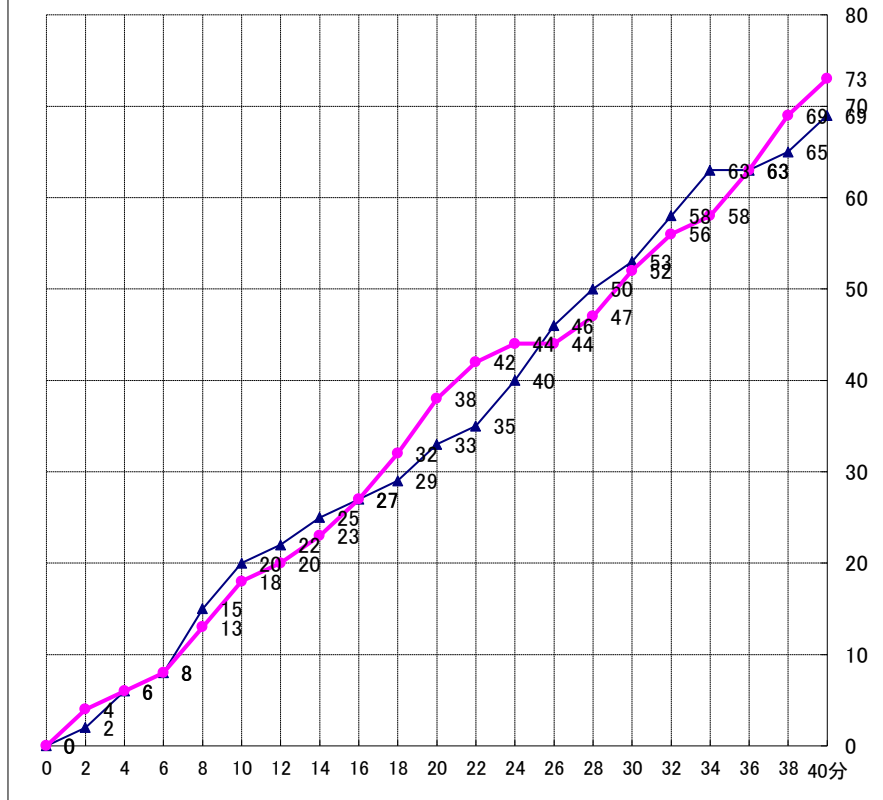
選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
鈴木 悠斗	4	13	0	2	5	14	3	3	3	3	5	8
関根 隆慈	5	10	2	7	2	5	0	0	0	1	3	4
大竹 峻叶	6											
鈴木 響希	7	6	0	1	3	7	0	0	5	0	1	1
吉田 敬陽	8	9	0	1	4	9	1	2	0	4	2	6
川戸 渚	9	14	4	8	1	5	0	0	3	1	4	5
橋本 恭典	10											
長谷川 丈	11											
夏山 和己	12											
萩原 康平	13	2	0	1	0	2	2	2	3	2	0	2
柏 秦太	14	4	0	1	2	2	0	0	0	0	1	1
兪 龍海	15	11	0	0	5	8	1	1	3	1	4	5
川上 裕樹	16	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
鎌谷 和輝	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐藤 怜	18											
チーム									0	1	1	2
合計		69	6	21	22	53	7	8	17	13	21	34
成功率			28.6%		41.5%		87.5%					

八王子学園八王子高等学校(東京)

コーチ 石川 淳一 A・コーチ 伊東 純希 マネジャー 野田 駿介

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
遠藤 涼真	5	6	0	1	3	7	0	0	4	5	1	6
半田 雄資	6	4	0	1	2	3	0	0	0	0	5	5
ウスマヌ ジャ	7	13	0	0	5	18	3	8	0	5	5	10
草木 惠翔	9											
石川 竜生	10	2	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1
鴛田 風真	11	17	1	7	5	12	4	6	3	2	2	4
木村 圭吾	12	22	0	5	10	20	2	3	1	3	3	6
籾内 貴太	13	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
野村 弘樹	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ババカル アイダラ ジャロ	15	2	0	0	1	4	0	1	0	3	4	7
葉山 郷	16											
攪上 颯斗	19	2	0	0	1	1	0	0	1	1	1	2
青山 明	20											
川畑 輝	21	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
内田 尚人	1											
チーム									0	0	5	5
合計		73	2	15	29	67	9	18	10	20	27	47
成功率			13.3%		43.3%		50.0%					

得点経過



戦評

Aブロック決勝戦。今大会、他を寄せつけない強さで決勝戦に挑む桐光学園と、準決勝で土浦日大との接戦を制した八王子の一番。ディフェンスは、お互いハーフマンツウで構えた。序盤から決勝に相応しいランニングプレーの応酬が見られた。桐光学園は#7鈴木響のミドルショットや#9川戸の3P、八王子は#11鴛田#12木村のシュートが高確率で決まって、20対18の桐光学園リードで第1ピリオドを終える。第2ピリオド、桐光学園は#9川戸の3P、八王子は#15ババカルのバスケットカウントと、その後も一進一退のシーソーゲームが続く。残り3分、八王子#5遠藤がオフェンスリバウンドに食らいついてセカンドショットに成功させると、桐光学園はタイムアウトを取り、再度気を引き締めた。両チームともにベンチスタートのメンバーの頑張りが光り、しっかりと繋ぎの役を果たした。僅かにインサイドで分がある八王子が、33対38の5点リードで後半戦を迎える。第3ピリオド、前半同様の攻防が続く。桐光学園は#5関根の3Pで流れを掴み、ランニングプレーで丁寧にミドルショットを沈めて、残り4分30秒で逆転に成功。対する八王子はゴール下にボールを集めるが、桐光学園#15兪が豪快なブロックショットで八王子のインサイドを封じる。八王子は#11鴛田の3Pで逆転し返すが、すぐさま桐光学園#4鈴木悠の気迫のプレーがバスケットカウントになり、再び桐光学園リード。まさに手に汗握る熱戦が繰り広げられ、53対52で桐光学園1点リードで最終ピリオドへ突入。緊張感が会場を包むなか、試合が再開された。両チームの応援合戦にも熱が入っていた。桐光学園は#5関根#9川戸の3P、#15兪のミドルショットで八王子をたたみかけようとするが、八王子は#7ウスマヌ#12木村のパワープレー、#11鴛田のランニングプレーで意地を見せる。残り5分、同点でタイムアウト。両チーム、息を整えて作戦を確認する。試合が動くと、八王子#12木村#11鴛田が3連続得点で勝負を決めにいく。負けじと桐光学園も#4鈴木悠#5関根が決め返し、会場の高まりもピークに。勝負を決めたのは八王子#6半田。ミスの許されない緊張の局面で、会場中の視線が集中するなか、見事にミドルショットを決め73対69で八王子が優勝を決めた。チャンスをものにできずに涙をのむこととなった桐光学園。夏の大会に大いに期待したい。死力を尽くした両チームのファイトに会場中が感動した。決勝戦に相応しい熱い試合だった。

記入者 小山 幸広